

アジア工科大学院大学/ タイ王国

Asian Institute of Technology/ Kingdom of Thailand

大学紹介

1959年に設立されたタイ王国クローンルワンに本部を置く工学、先端技術、環境学、農学、持続可能な開発、経営管理に特化した国際機関かつ大学院である。通称はAIT(エーアイティー)であり、世界50ヶ国以上から2,000人以上の大学院生、そしておよそ100人の多国籍教員が在籍し、アジアの研究教育活動をリードするエリート大学院として高い実績と知名度を誇る。学内公用語は英語である。

学事日程

春学期:1月～5月/ 秋学期:8月～12月

Asian Institute of
Technology

WEBサイト



学べる学問

工学・テクノロジー(公共インフラ工学、情報コミュニケーションテクノロジー、産業システム工学)、環境・資源・開発(開発・サステナビリティ、エネルギー・環境・気温変化、食物・農業・バイオ資源)、経営管理

留学条件

基本的には大学院生
英語のスコア:CEFR B2

留学体験

AITで学ぶ正規の学生の半数以上は、アジアを中心に世界各国から学びに来ています。私は学部3年生の時に留学したのですが、Regional and Rural Development Planningという大学院内にある学科への交換留学を行い、院の授業を受講していました。ここではお茶大と同様に少人数で授業が展開されています。私が受講した授業は少ないと3人、多いと15人程度の規模でした。学生は基本的にAITの敷地内にある大学寮住みます。キャンパスはバンコク市内からバスで1時間ほどの郊外にある為、平日は基本的にキャンパス内で過ごしていました。AITにはカフェテリアのほか、スナックバーと呼ばれる南アジア料理専門の食堂、タイ料理・シンガポール料理などのレストランも幾つか併設されていました。AITでは国際学会等が行われることも多く、学生も参加できる機会が多々あります。私も留学中にAITでお世話になった教授の推薦で、International Forum on Education for Rural Transformation(IFERT)のYouth Forumに参加する機会がありました。

(2017年度交換留学派遣 文教育学部 人文科学科 3年)